

## 件 名

---

「令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果について

## 提出理由

---

本年度実施された全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果等について、別紙のとおり報告します。

## 概 要

---

- 1 「令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果  
調査の概要
  - ア 調査の目的
  - イ 調査方法
  - ウ 結果の公表  
県平均値と全国平均値との比較
    - ア 体力合計点について
    - イ 総合評価について
    - ウ 各項目の全国順位の推移について

- エ 運動習慣について
- オ 体格について
- カ スクリーンタイム（テレビ・ゲーム・スマホ・パソコン等）について
- キ 運動やスポーツが好きな児童生徒について
- ク 体力向上等に関する意識や体育・保健体育の授業について

## 2 令和4年度調査結果の概要

結果

課題

課題解決に向けて

# 1 「令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果

## (1) 調査の概要

### ア 調査の目的

- (ア) 国が全国的な児童生徒の体力・運動能力等の状況を把握・分析することにより、児童生徒の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (イ) 各教育委員会が自らの児童生徒の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、児童生徒の体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (ウ) 各学校が各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

### イ 調査方法

- (ア) 実施期間 令和4年4月から7月まで
- (イ) 対 象 国公立の小学校5年生、中学校2年生（悉皆調査）
- (ウ) 実施項目

## 実技に関する調査（８項目）、質問紙調査

		テスト項目						
小学校 ５年生	握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	20mシャトルラン※ <sup>1</sup>	50m走	立ち幅 とび	ソフトボール 投げ
中学校 ２年生					20mシャトルランか 持久走※ <sup>2</sup> の選択			ハンドボール 投げ

※<sup>1</sup> 往復持久走（一定の間隔で鳴る電子音に従って20mを走り、折り返し回数を測定）

※<sup>2</sup> 男子は1500m、女子は1000m

### （エ）参加校数

		実施校数	男子（人）	女子（人）	合計（人）
小学校	全国公立	18,435	496,037	477,508	973,545
	埼玉県公立（さいたま市を含む）	774	28,094	27,217	55,311
中学校	全国公立	9,192	440,737	416,857	857,594
	埼玉県公立（さいたま市を含む）	400	26,128	25,100	51,228

### ウ 結果の公表

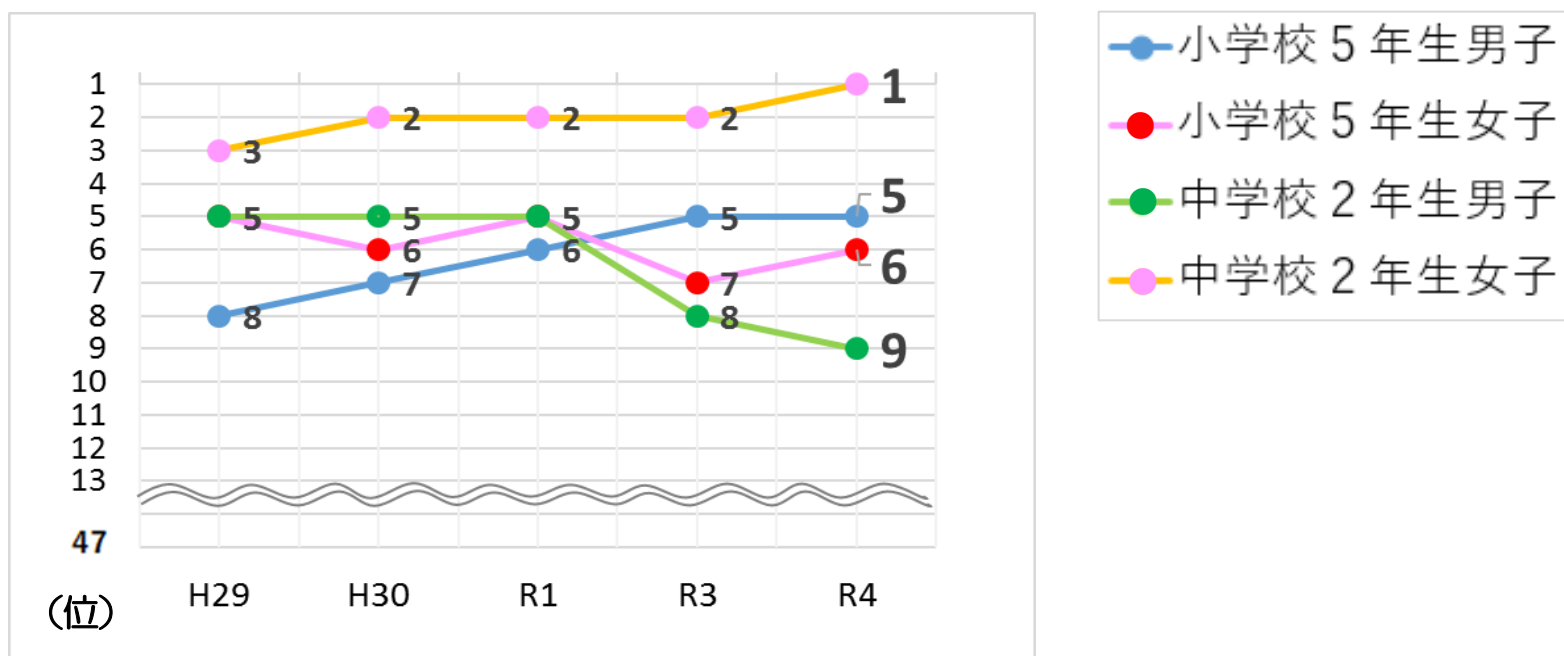
令和４年１２月２３日

## (2) 県平均値（さいたま市を含む。）と全国平均値との比較

(※ 割合の合計は、四捨五入の関係で100%にならない場合がある。)

ア 体力合計点について(スポーツ庁が示す基準【別添資料1 1~4ページ参照】に従って、年齢と項目別の記録に応じて点数化した8項目の点数)

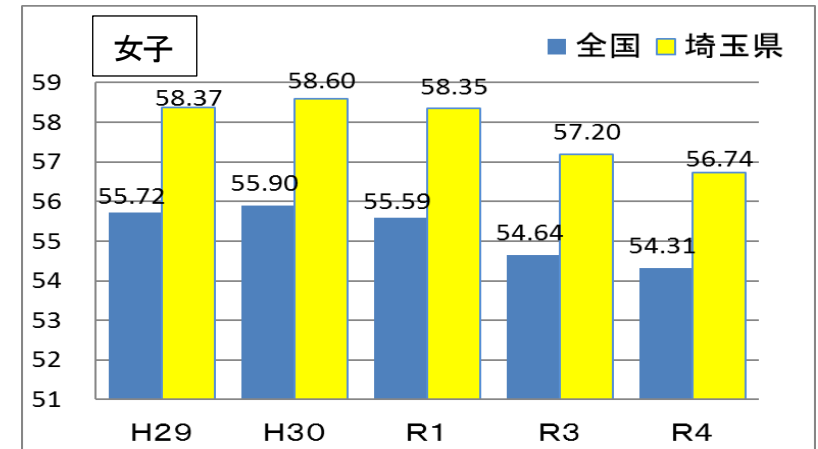
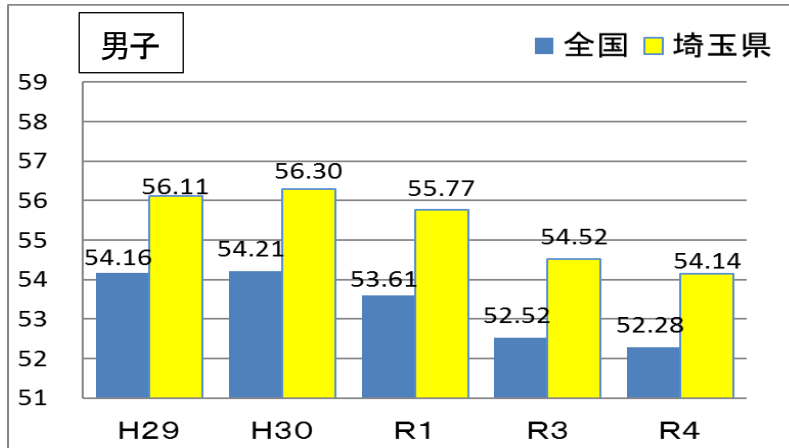
(ア) 体力合計点の全国順位の推移



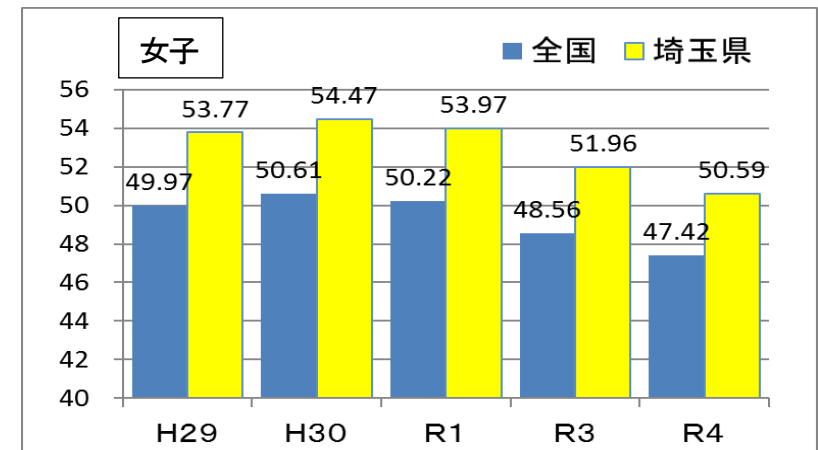
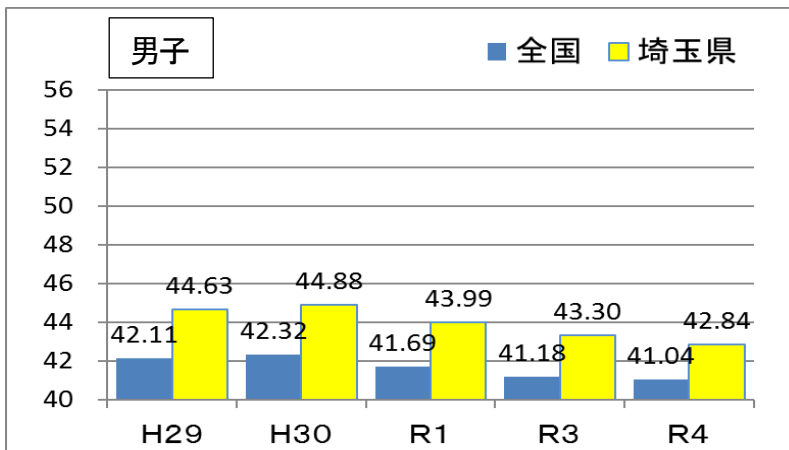
○埼玉県：体力合計点の全国順位の推移は、小学校5年生男女、中学校2年生男女ともに全国の上位を維持しており、中学校2年生女子は、全国1位の結果であった。

# (イ) 体力合計点の推移について

## ○小学校5年生



## ○中学校2年生



○埼玉県：県平均値と全国平均値を比較すると、男女ともに高い値であったが、全国平均値と同様に男女とも昨年度を下回った。

## イ 総合評価について

体力合計点によるAからEの5段階の評価（別添資料1 4ページ参照）

（※合計は、四捨五入の関係で100%にならない場合がある。）

### ○小学校5年生

区分	男子						女子					
	A	B	C	D	E	A+B+C	A	B	C	D	E	A+B+C
令和3年度 埼玉県	13.0%	26.4%	33.3%	19.3%	8.1%	72.6%	20.1%	30.8%	31.5%	13.6%	4.0%	82.4%
令和4年度 埼玉県	12.3%	25.5%	33.1%	20.5%	8.6%	70.9%	18.7%	29.8%	32.1%	15.1%	4.2%	80.6%
令和4年度 全国	9.6%	21.1%	32.3%	24.0%	13.0%	63.0%	13.0%	24.1%	34.0%	21.2%	7.7%	71.1%

### ○中学校2年生

区分	男子						女子					
	A	B	C	D	E	A+B+C	A	B	C	D	E	A+B+C
令和3年度 埼玉県	10.8%	27.8%	35.7%	20.1%	5.6%	74.4%	36.8%	32.5%	22.1%	7.7%	1.1%	91.3%
令和4年度 埼玉県	10.6%	27.0%	34.8%	20.9%	6.7%	72.4%	32.5%	32.4%	24.1%	9.3%	1.8%	89.0%
令和4年度 全国	7.9%	23.5%	35.2%	24.2%	9.3%	66.6%	23.8%	29.8%	28.3%	14.5%	3.6%	81.9%

○埼玉県：男女ともにA+B+Cの児童の割合は減少したものの、全国と比較して高かった。

## ウ 各項目の全国順位の推移について

### ○小学校5年生

		握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	持久走	20m シャトルラン	50m 走	立ち幅 とび	ボール投げ	体力 合計点
男子	平成21年度	41	5	7	8	—	9	7	6	47	10
	平成22年度	42	5	10	14	—	13	6	5	47	11
	平成24年度	44	5	16	12	—	14	6	8	47	14
	平成25年度	26	3	8	6	—	6	4	4	43	6
	平成26年度	24	2	7	7	—	7	5	4	45	6
	平成27年度	28	2	7	7	—	8	5	4	45	7
	平成28年度	20	1	4	8	—	5	6	4	47	8
	平成29年度	23	2	5	7	—	7	4	3	45	8
	平成30年度	24	1	5	6	—	7	5	5	42	7
	令和元年度	24	1	4	5	—	7	5	2	43	6
	令和3年度	26	1	6	8	—	7	6	6	45	5
令和4年度	<b>29</b>	<b>1</b>	<b>7</b>	<b>7</b>	<b>—</b>	<b>7</b>	<b>3</b>	<b>6</b>	<b>45</b>	<b>5</b>	
女子	平成21年度	29	5	6	10	—	12	5	5	45	6
	平成22年度	42	4	7	12	—	15	5	6	45	10
	平成24年度	38	6	9	10	—	16	2	8	46	7
	平成25年度	20	3	7	5	—	7	4	4	41	5
	平成26年度	23	2	5	7	—	6	3	2	39	5
	平成27年度	19	2	4	7	—	7	3	3	39	5
	平成28年度	13	2	3	8	—	6	3	3	37	5
	平成29年度	15	2	4	8	—	6	4	2	37	5
	平成30年度	19	2	4	9	—	7	3	3	37	6
	令和元年度	20	1	3	7	—	7	4	3	35	5
	令和3年度	21	1	5	9	—	9	4	5	39	7
令和4年度	<b>21</b>	<b>1</b>	<b>5</b>	<b>10</b>	<b>—</b>	<b>8</b>	<b>4</b>	<b>7</b>	<b>39</b>	<b>6</b>	



## ○中学校2年生

		握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	持久走	20m シャトルラン	50m 走	立ち幅 と び	ボール投げ	体力 合計点
男子	平成21年度	18	1	5	21	2	9	4	15	15	8
	平成22年度	36	2	6	11	8	27	8	22	17	11
	平成24年度	29	3	9	14	5	11	14	18	19	12
	平成25年度	20	1	3	15	2	8	4	13	13	7
	平成26年度	19	1	2	7	2	2	3	9	12	4
	平成27年度	20	1	2	10	2	3	4	12	13	7
	平成28年度	24	1	2	11	2	2	7	12	13	5
	平成29年度	20	1	1	7	2	10	3	9	12	5
	平成30年度	22	1	1	8	2	4	4	12	13	5
	令和元年度	21	1	1	6	2	3	4	9	15	5
	令和3年度	21	1	1	16	5	16	4	18	14	8
令和4年度	<b>24</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>24</b>	<b>7</b>	<b>9</b>	<b>2</b>	<b>12</b>	<b>12</b>	<b>9</b>	
女子	平成21年度	5	1	2	15	2	4	4	7	14	4
	平成22年度	11	2	5	7	2	7	3	7	25	5
	平成24年度	7	1	5	7	3	3	5	6	14	4
	平成25年度	3	1	4	12	2	3	3	7	7	4
	平成26年度	1	1	1	4	2	2	2	2	4	3
	平成27年度	2	1	2	5	2	2	4	2	8	3
	平成28年度	1	1	1	4	3	2	2	3	6	3
	平成29年度	2	1	2	3	3	3	2	3	5	3
	平成30年度	1	1	1	3	2	3	2	4	7	2
	令和元年度	1	1	2	2	4	2	2	2	5	2
	令和3年度	5	1	1	10	4	5	3	6	5	2
令和4年度	<b>5</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>15</b>	<b>10</b>	<b>3</b>	<b>1</b>	<b>3</b>	<b>7</b>	<b>1</b>	

## エ 運動習慣について

(ア) 体育授業を除いた1日当たりの運動（遊びや部活動等）従事時間【分】の比較について

### ○小学校5年生

男子	平日	土日
全国 R4	60.33	131.66
(全国 R3)	(55.88)	(122.87)
埼玉 R4	54.25	139.70
(埼玉 R3)	(49.06)	(134.58)
差	<b>-6.08</b>	<b>8.04</b>

女子	平日	土日
全国 R4	41.15	70.78
(全国 R3)	(39.62)	(67.99)
埼玉 R4	35.70	69.23
(埼玉 R3)	(34.48)	(68.74)
差	<b>-5.45</b>	<b>-1.55</b>

### ○中学校2年生

男子	平日	土日
全国 R4	91.20	149.25
(全国 R3)	(88.09)	(141.92)
埼玉 R4	95.65	162.33
(埼玉 R3)	(92.02)	(148.73)
差	<b>4.45</b>	<b>13.08</b>

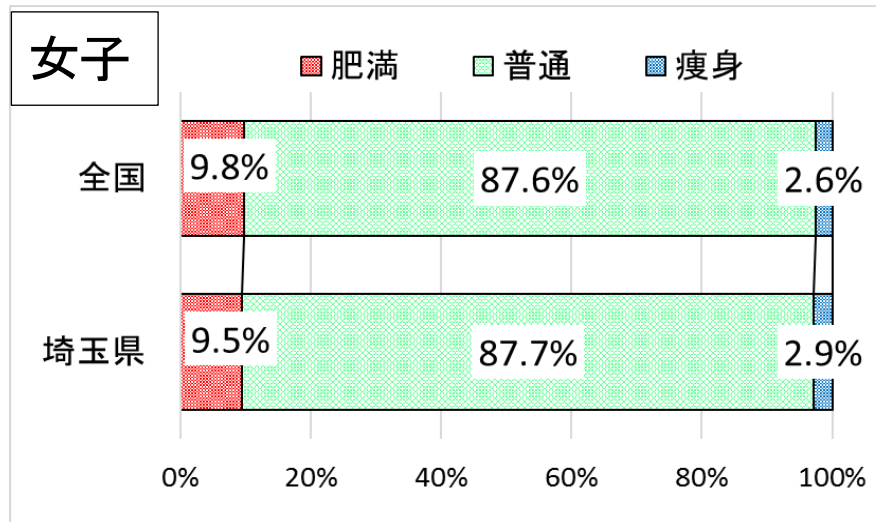
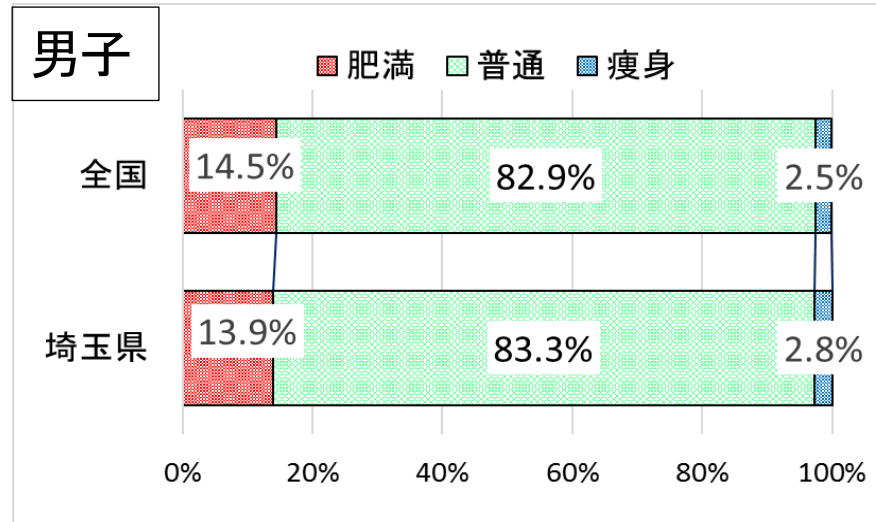
女子	平日	土日
全国 R4	69.19	93.55
(全国 R3)	(66.91)	(90.94)
埼玉 R4	73.93	102.32
(埼玉 R3)	(70.52)	(93.92)
差	<b>4.74</b>	<b>8.77</b>

○埼玉県：小学校5年生男子では、土日は全国平均値を上回っているが、平日は下回っており、女子では、平日、土日ともに全国平均値を下回っている。中学校2年生は、男女とも平日、土日ともに全国平均値を上回っている。

## オ 体格について

### (ア) 肥満傾向児・痩身傾向児の出現率について

#### ○小学校5年生



<標準体重と肥満度判定>

「児童・生徒の健康診断マニュアル(改訂版)」より  
平成18年3月31日発行 財団法人日本学校保健会

$$\text{標準体重} = a \times \text{身長(cm)} - b$$

$$\text{肥満度(\%)} = \frac{\text{自分の体重(kg)} - \text{標準体重(kg)}}{\text{標準体重(kg)}} \times 100$$

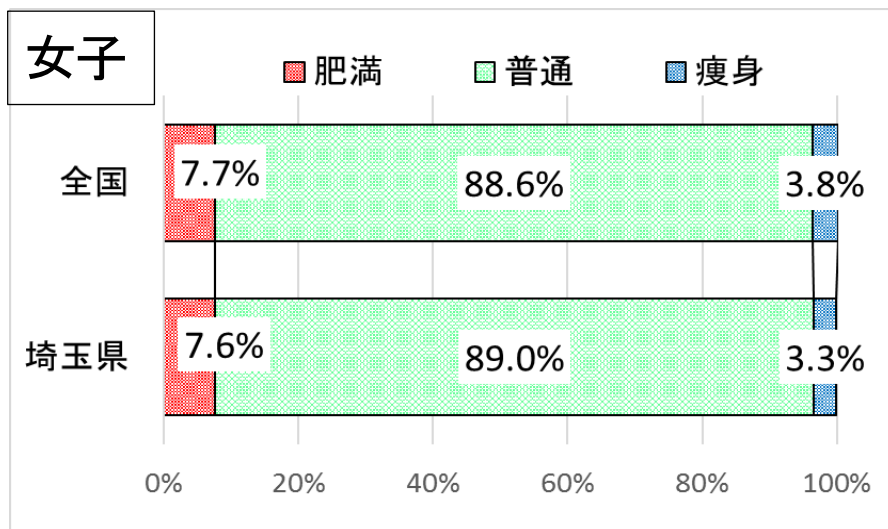
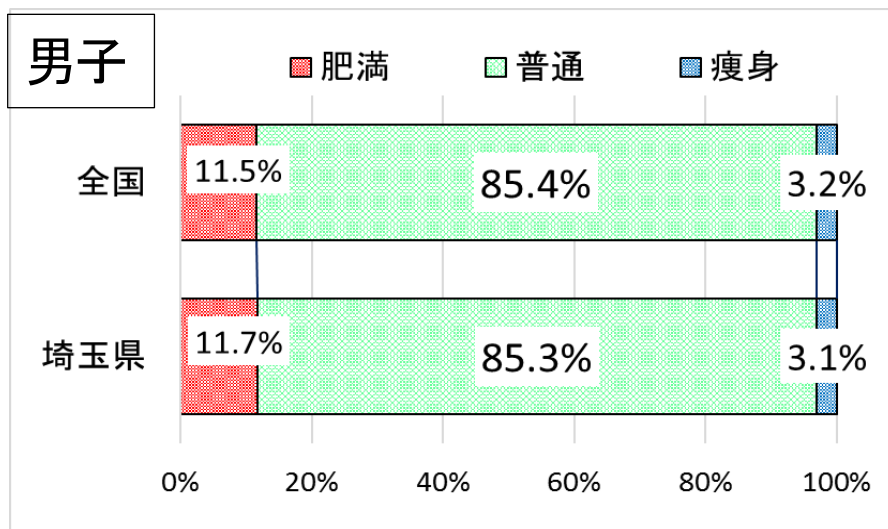
標準体重を求める係数

年齢	男子		女子	
	a	b	a	b
9(小4)	0.687	61.390	0.652	56.992
10(小5)	0.752	70.461	0.730	68.091
11(小6)	0.782	75.106	0.803	78.846

判定基準

肥満度	判定
20%以上	肥満
-19.9 ~ 19.9%	普通
-20%以下	やせ

## ○中学校 2 年生



標準体重を求める係数

年齢	男子		女子	
	a	b	a	b
12(中1)	0.783	75.642	0.796	76.934
13(中2)	0.815	81.348	0.655	54.234
14(中3)	0.832	83.695	0.594	43.264

判定基準

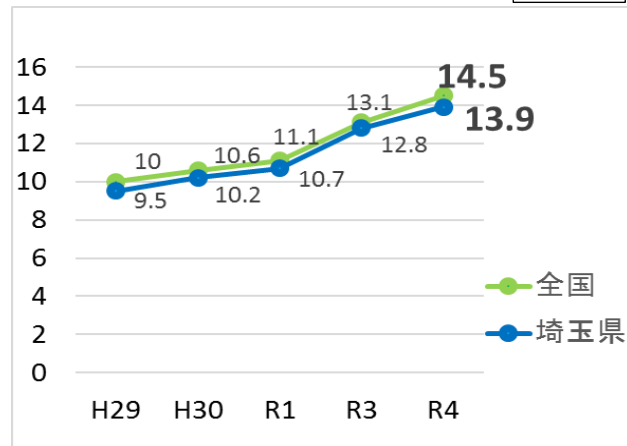
肥満度	判定
20%以上	肥満
-19.9 ~ 19.9%	普通
-20%以下	やせ

○埼玉県：肥満傾向児は小学校 5 年生男女、中学校 2 年生女子は全国平均を下回り、中学校 2 年生男子は全国平均を上回った。

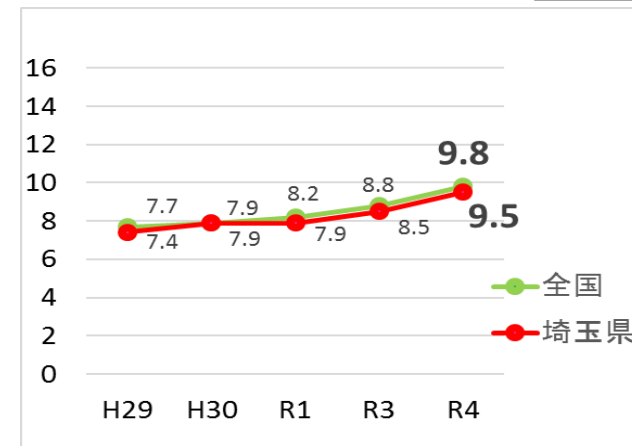
## (イ) 肥満である児童生徒の経年変化について

### ○小学校5年生

男子

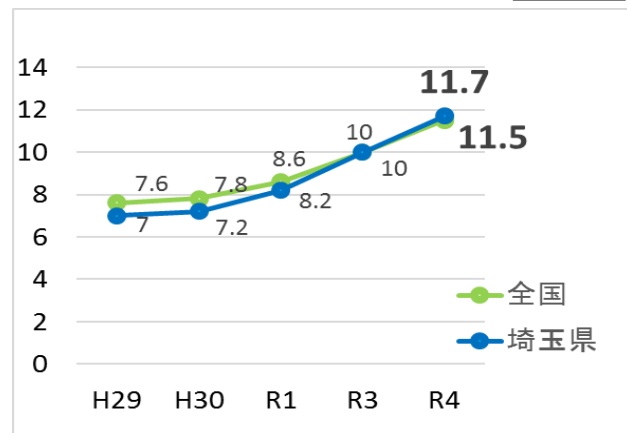


女子

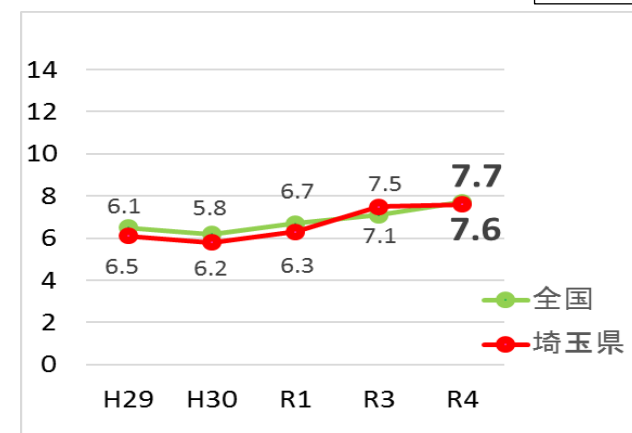


### ○中学校2年生

男子



女子



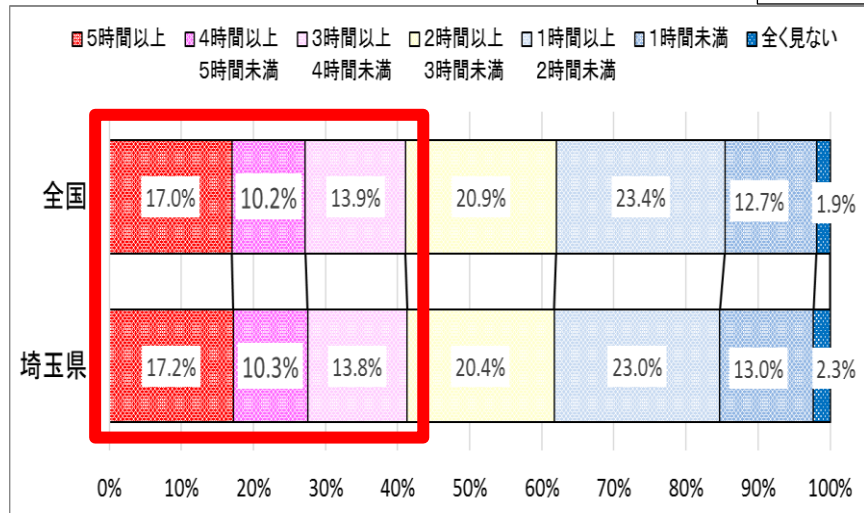
○埼玉県：全国平均と同様に肥満である児童生徒が増加している。また、小学校5年生男女、中学校2年生女子は全国平均を下回っているが、校2年生男子は全国平均を上回っている。

# カ スクリーンタイム（テレビ・ゲーム・スマホ・パソコン等）について

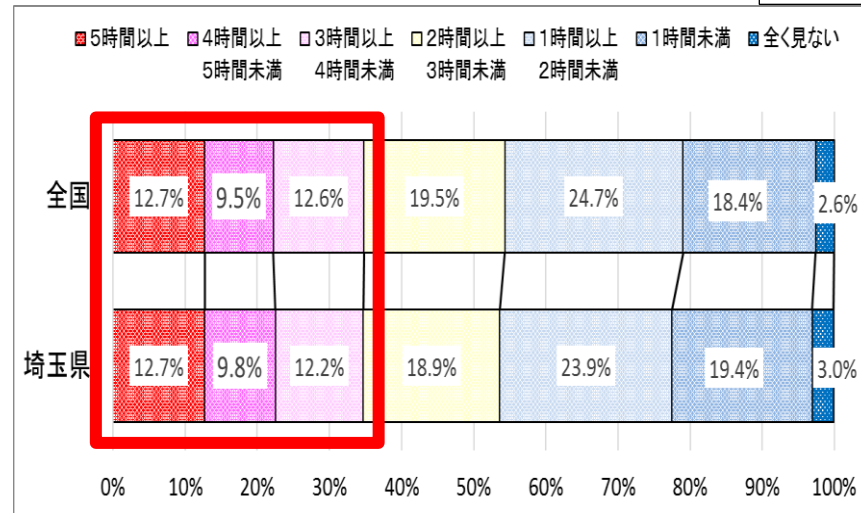
## （1）平日におけるスクリーンタイムの時間（学習時間を除く）

### ○小学校5年生

男子

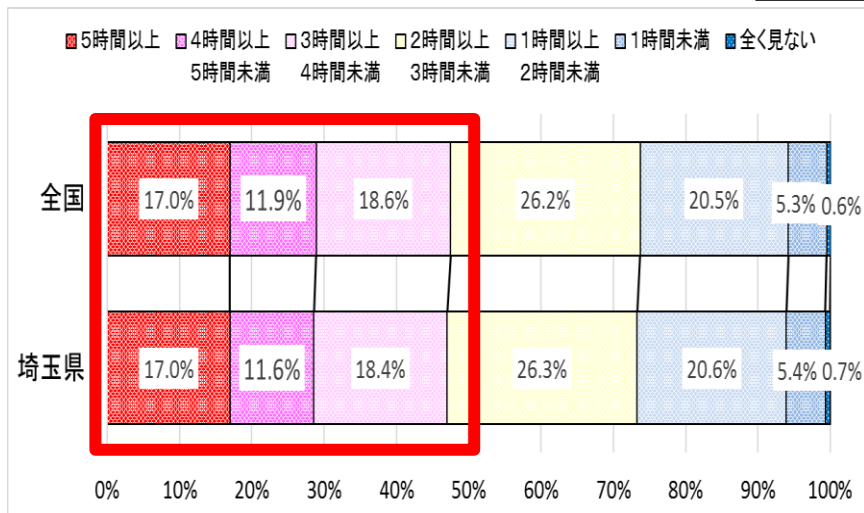


女子

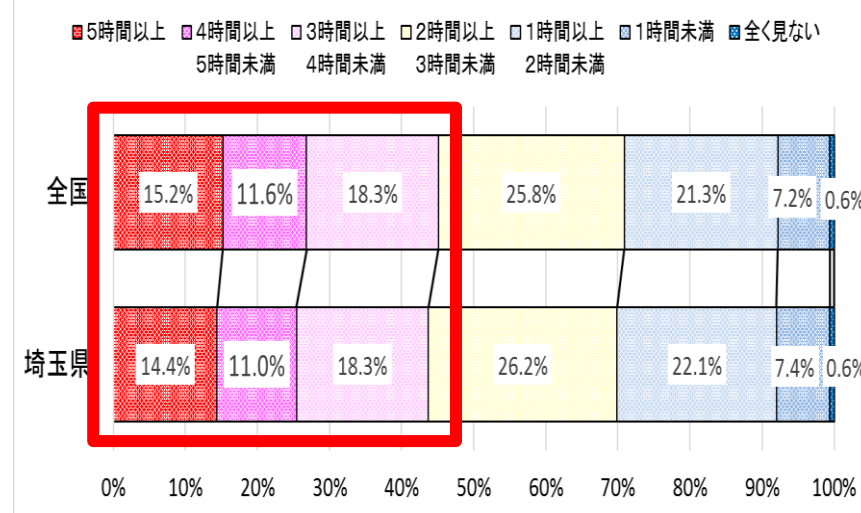


### ○中学校2年生

男子



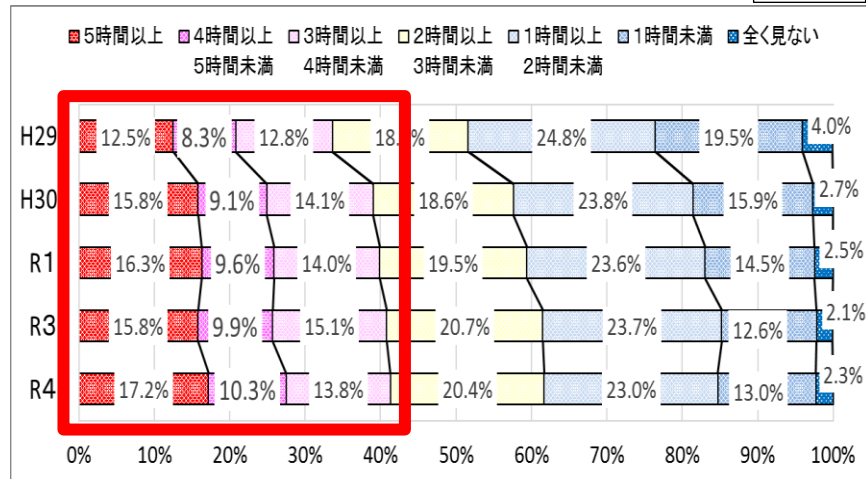
女子



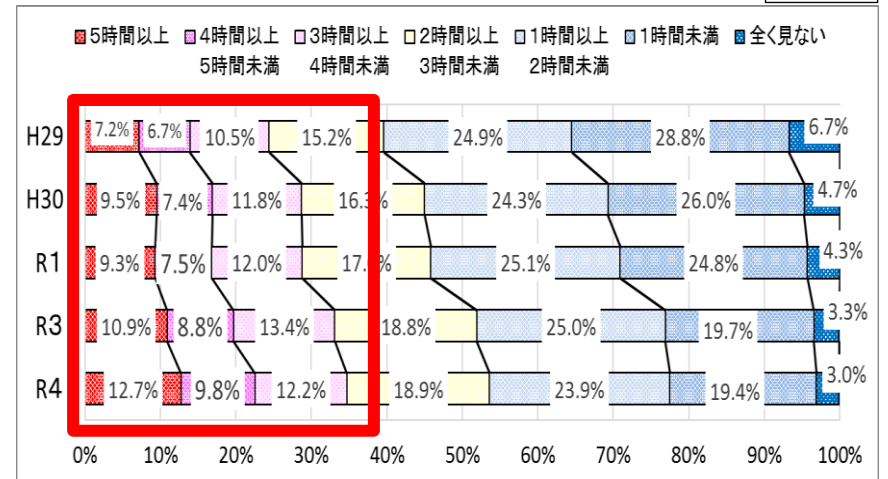
## (2) スクリーンタイムの経年変化について

### ○小学校5年生

男子

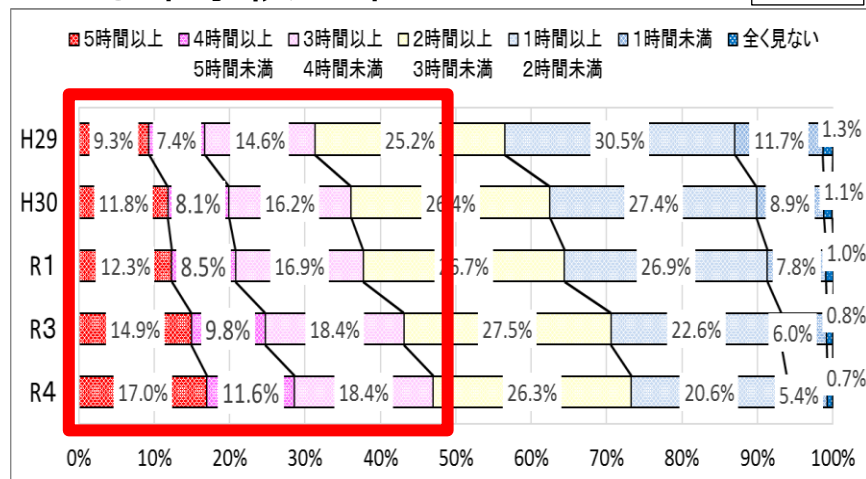


女子

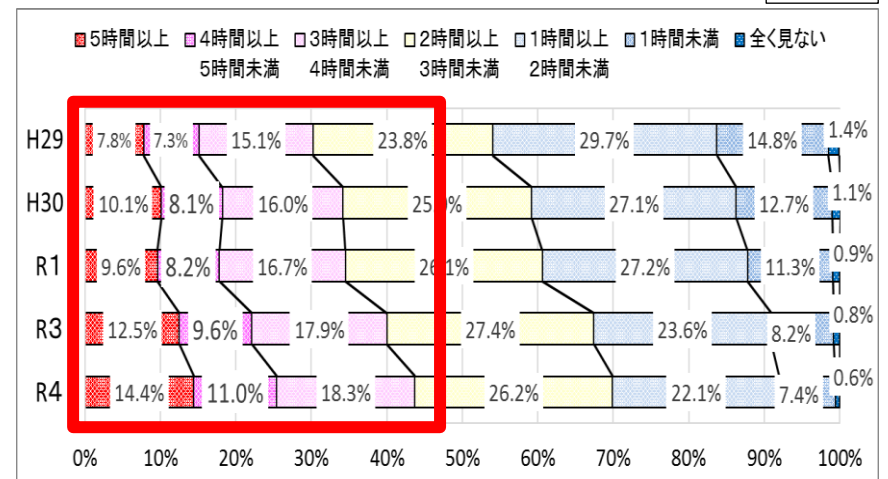


### ○中学校2年生

男子



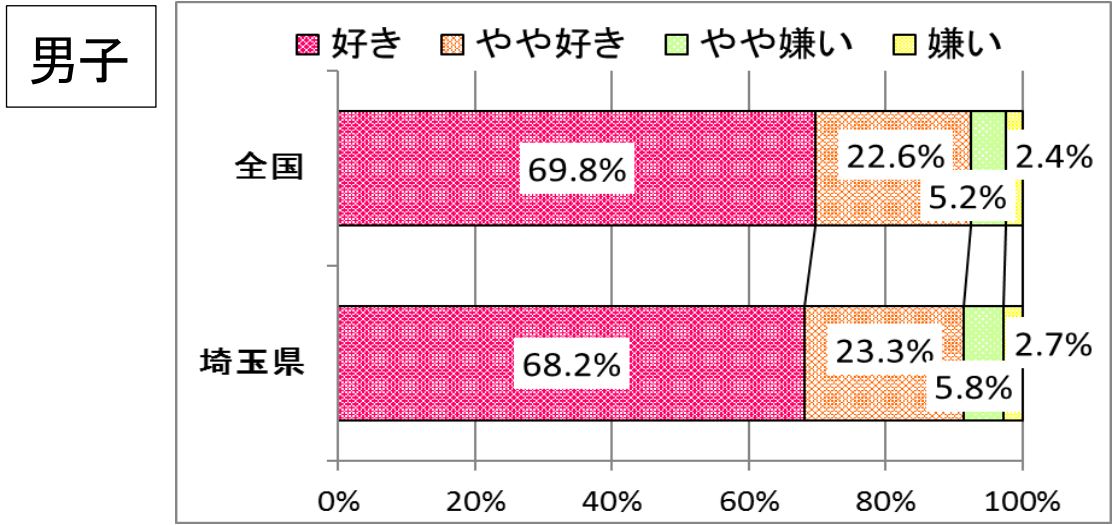
女子



○埼玉県：学習以外のスクリーンタイムは、小学校5年生男女、中学校2年生男女ともに増加傾向にある。

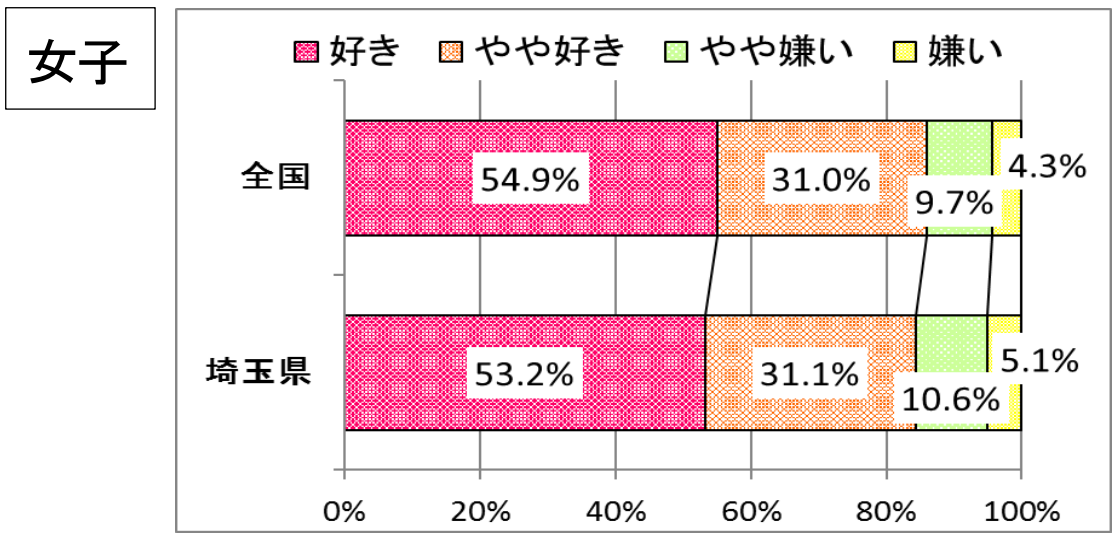
# キ 運動やスポーツが好きな児童生徒について

## ○小学校5年生



好き + やや好きの合計

全国	92.4
埼玉	91.5



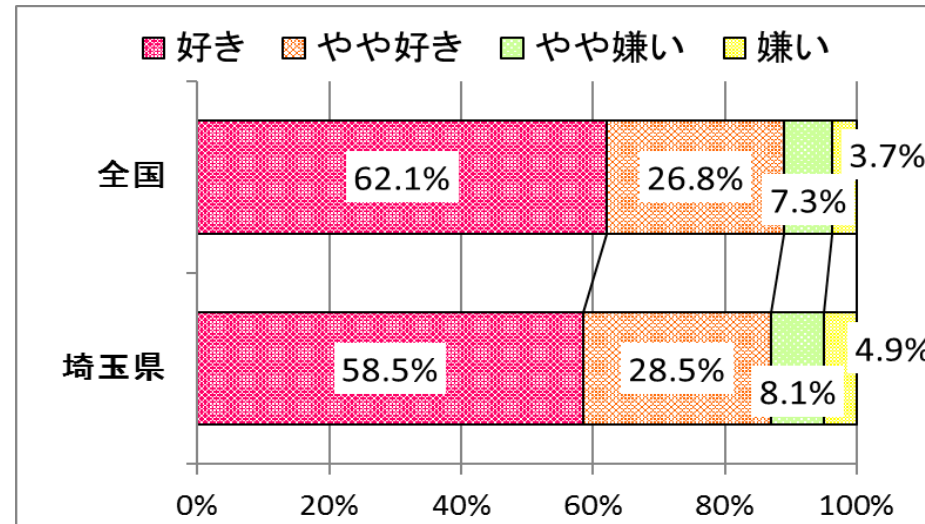
好き + やや好きの合計

全国	85.9
埼玉	84.3



## ○中学校 2年生

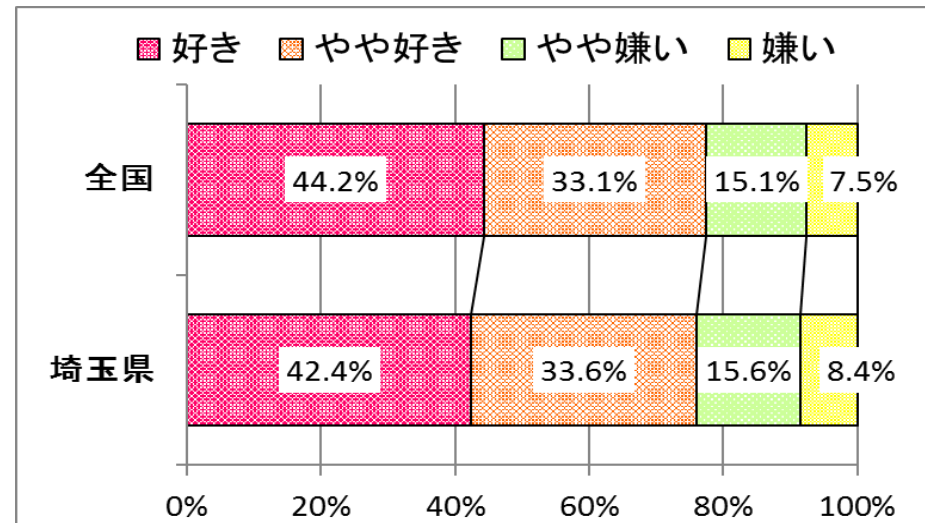
男子



好き + やや好きの合計

全国	88.9
埼玉	87.0

女子



好き + やや好きの合計

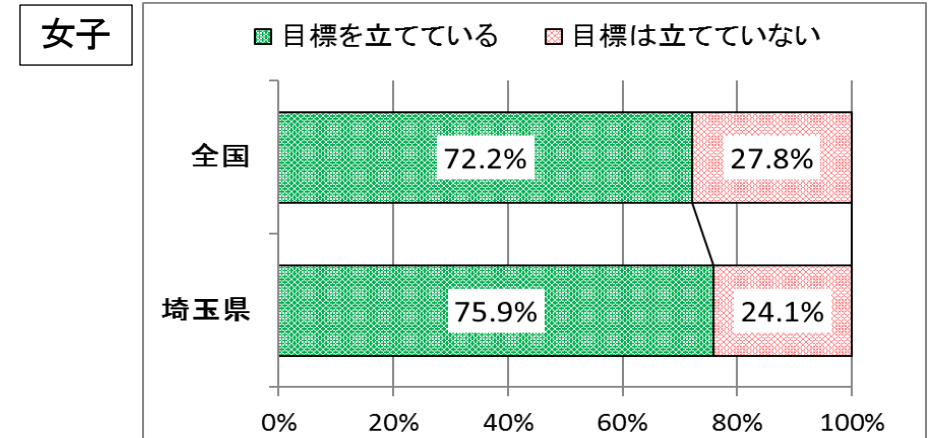
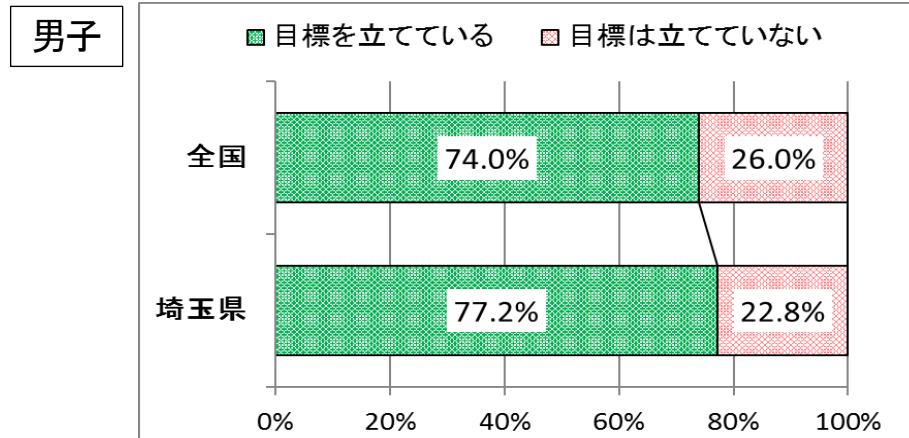
全国	77.3
埼玉	76.0

○埼玉県：「好き・やや好き」の割合が、全国平均と比較して小・中学校の男女ともに低い数値であった。

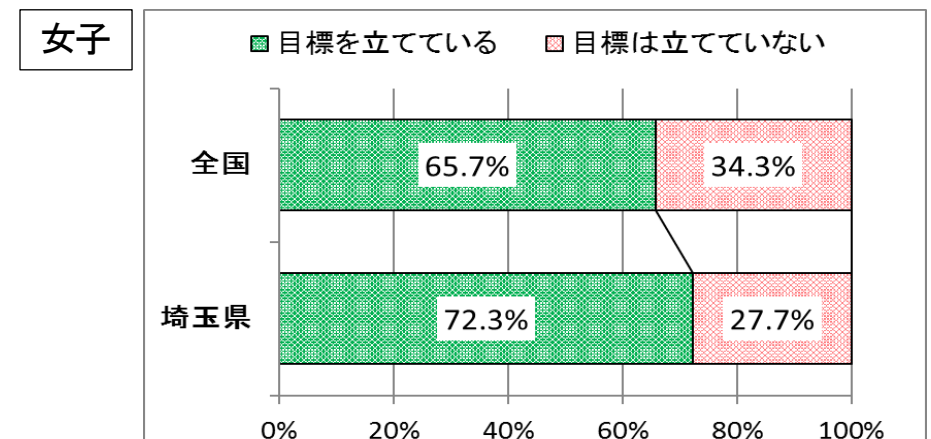
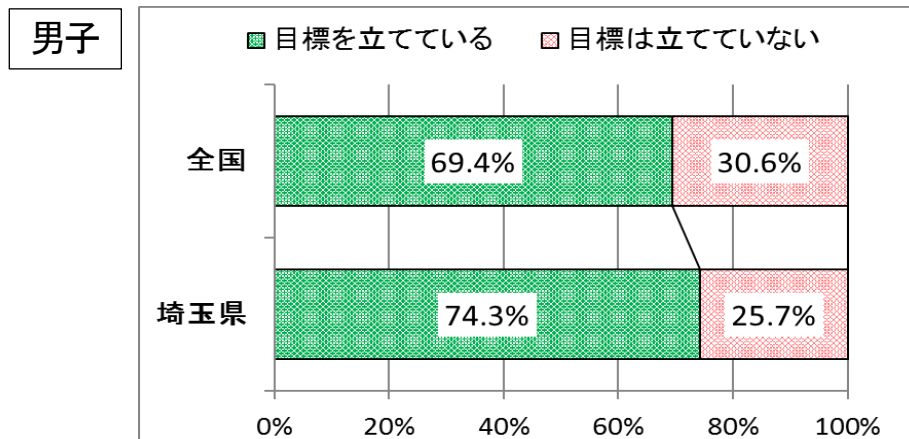
## ク 体力向上等に関する意識や体育・保健体育の授業について

(ア) 体力テストの結果や体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てている

### ○小学校5年生



### ○中学校2年生

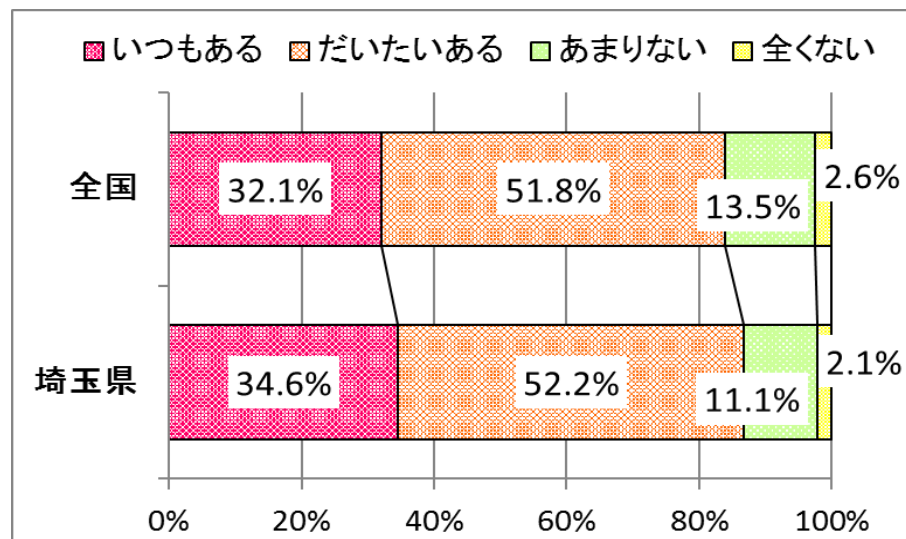


○埼玉県：体力テストの結果や体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てている数値が全国平均よりも高い数値であった。

(イ) 体育授業において目標（ねらい・めあて）を意識して学習することで「できたり、わかったり」することがある

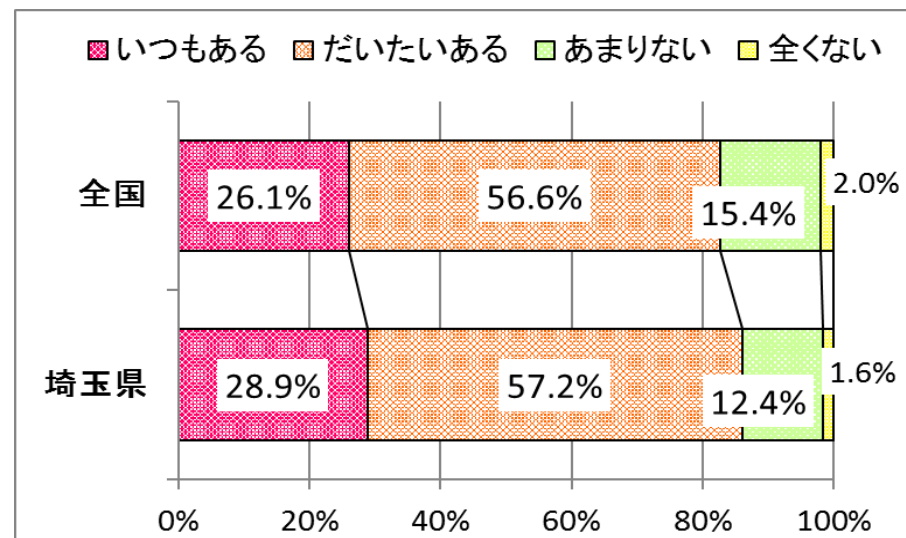
○小学校5年生

男子



いつもある  
+ だいたいあるの合計  
全国 83.9  
埼玉 86.8

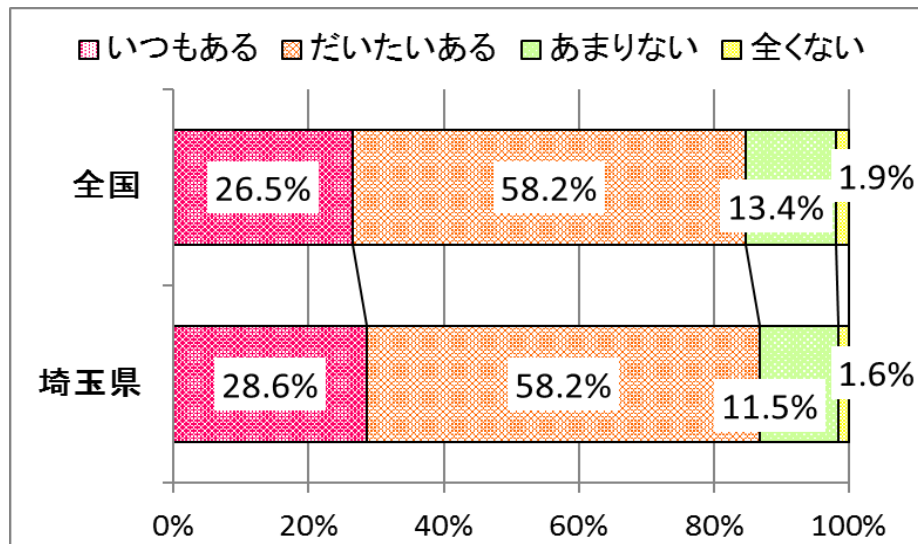
女子



いつもある  
+ だいたいあるの合計  
全国 82.7  
埼玉 86.1

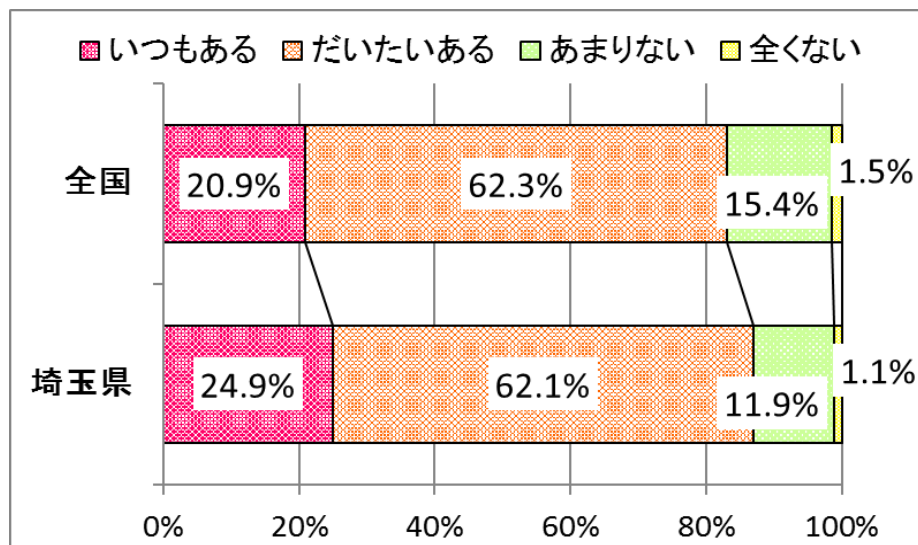
# ○中学校2年生

男子



いつもある  
+ だいたいあるの合計  
全国 84.7  
埼玉 86.8

女子

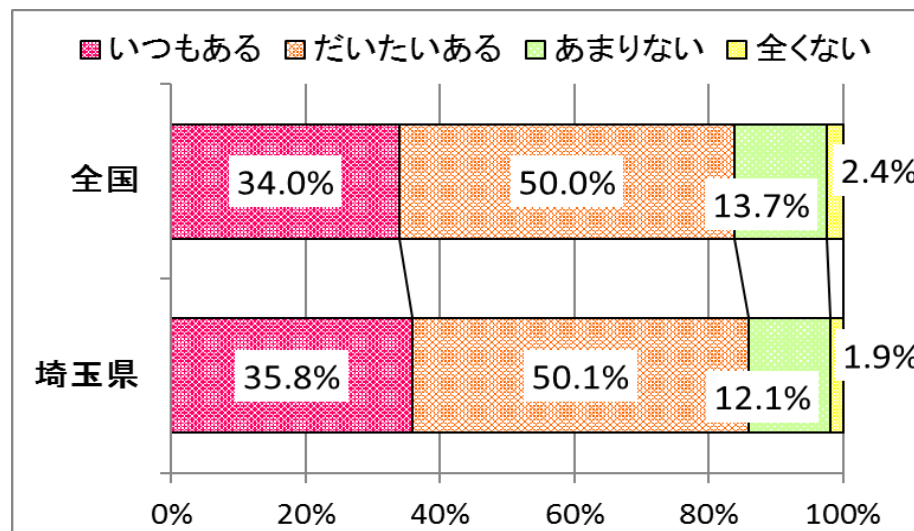


いつもある  
+ だいたいあるの合計  
全国 83.2  
埼玉 87.0

(ウ) 体育授業において、自分に合った練習の方法を選んで学習することで「できたり、わかったり」することがある

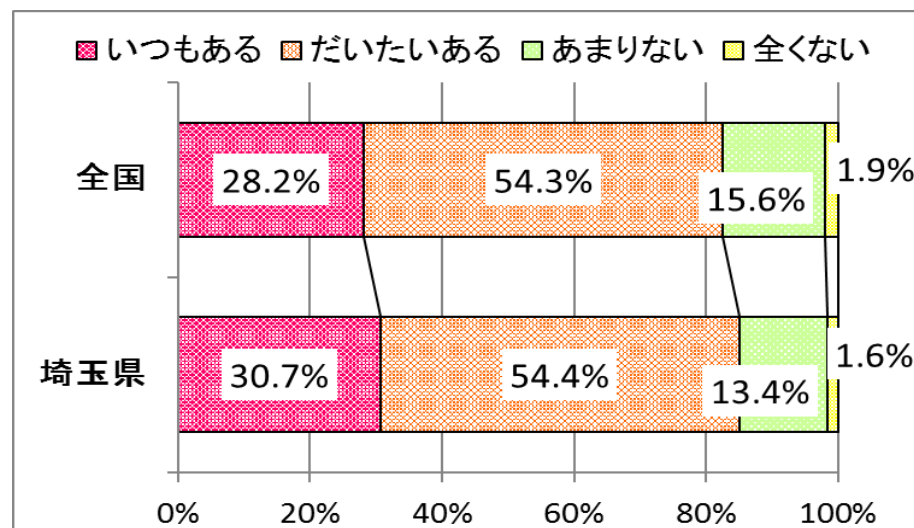
○小学校5年生

男子



いつもある  
+ だいたいあるの合計  
全国 84.0  
埼玉 85.9

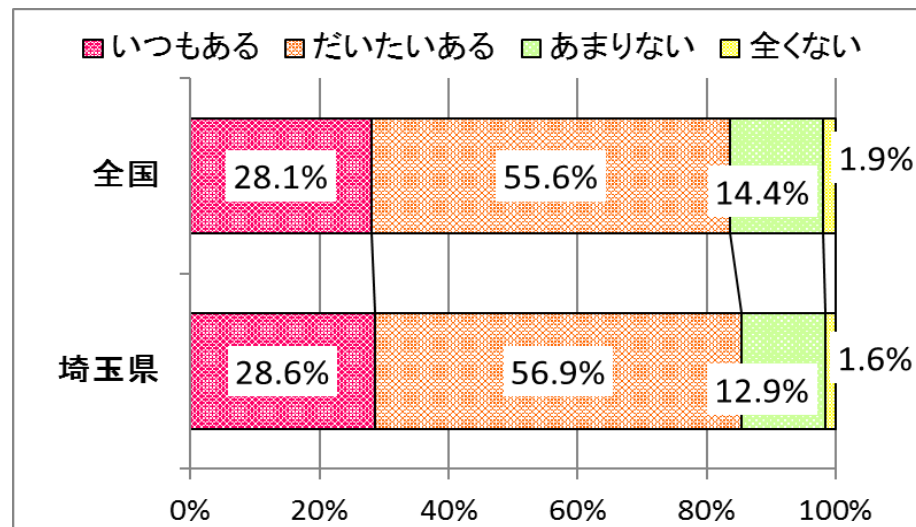
女子



いつもある  
+ だいたいあるの合計  
全国 82.5  
埼玉 85.1

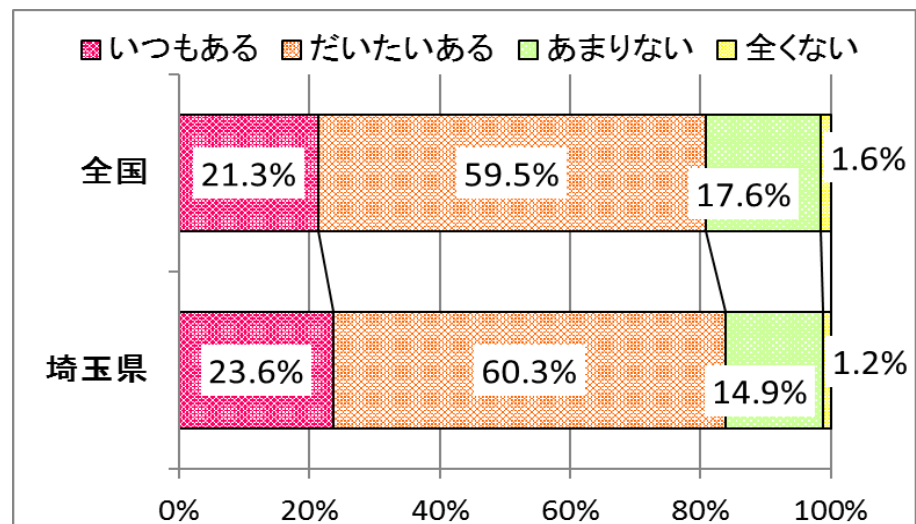
## ○中学校2年生

男子



いつもある  
+ だいたいあるの合計  
全国 83.7  
埼玉 85.5

女子



いつもある  
+ だいたいあるの合計  
全国 80.8  
埼玉 83.9

○埼玉県：授業について、児童生徒が目標を持ったり、場を選んだりして取り組んでいる数値が全国平均よりも高い数値であった。

## 2 令和4年度調査結果の概要

### (1) 結果

- ア 本県の児童生徒の体力（実技）の数値は昨年度より低下したものの、全国と比較して高い数値を維持している。
- イ 体力テストの結果や体力の向上について、目標を立てている児童生徒の割合は、全国と比較して高い数値である。
- ウ 体育授業において目標を持ったり、自分に合った練習を選んで学習したりしている児童生徒の割合は、全国と比較して高い数値である。
- エ 令和元年度以降における体力合計点の推移は全国と同様に低下傾向である。
- オ 「運動・スポーツが好き」という児童生徒の割合は、全国と比較して若干低い数値である。
- カ 肥満である児童生徒やスクリーンタイムは全国と同様に増加傾向である。
- キ 小学校5年生におけるボール投げの記録は、全国と同様に低下傾向であり、全国順位も低い。

### (2) 課題

- ア 本県における体力（実技）の数値は、全国と比較して高いものの、「運動・スポーツが好き」という児童生徒の割合は、全国と比較して低い数値であるため、さらに運動やスポーツに親しむ児童生徒を育成していく必要がある。

- イ 肥満である児童生徒やスクリーンタイムが年々増加傾向にあるため、児童生徒が自主的に運動する習慣の確立を目指す必要がある。
- ウ 小学校段階におけるボール投げの記録は低下傾向であり、全国でも下位に位置しているため、投げる能力をより一層向上する必要がある。

### (3) 課題解決に向けて

- ア 運動が好きな児童生徒を育成するための授業改善
  - ⇒「運動好きな児童生徒育成のためのリーフレット」を基にしたモデル動画（令和5年3月配信予定）の活用を促す。
  - ⇒埼玉県体力課題解決研究指定校の授業実践研究（運動量の確保、ICTの活用、自作教具や掲示物の作成等）を周知する。
- イ 新体力テスト等の結果による児童生徒一人一人の実態と分析に基づく指導
  - ⇒各校において体力プロフィールシートの一層の活用を推進するため、各市町村教育委員会との連携を深め、授業研究会等で協議する。
- ウ 家庭での運動機会の増加や生活習慣の改善に向けた保護者等との連携
  - ⇒家庭で取り組める運動等を紹介したリーフレットを作成・配布する。
- エ ボールの投げ方や投力向上に向けた取組の工夫や動画・資料の活用
  - ⇒専門的な指導者と連携した取組や投力向上のための動画・資料の活用を促進する。